新春のごあいさつ

市政の課題も山積しており、大変厳しい時代ですが、「人を大切にする市政！」を基本理念に、市民の視点に立って、一歩一歩切り開いていきます。

大きな変革期に巡り合わせたことをチャンスと考え、全員野球の精神で全力をあげて取り組みます。

〝難しくても〟〝地味な問題でも〟〝時間がなくても〟挑戦します。

一緒にやりましょう！

八代市長
福島 和敏

新年を迎えて

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、8月に任期満了による市議会議員の選挙が行われ、市民の皆様の貴い負託を受け、第2期の市議会議員34名が当選いたしました。心から感謝申し上げます。

昨年、国においては、民主党を中心とした新政権が誕生し、国の平成22年度予算概算要求の見直しや経済危機対策関係の21年度補正予算の一部執行停止が行われるなど、危機的状況の地方財政に及ぼす影響が懸念されたところでございます。

本市におきましては、景気低迷の影響が市民生活に大きな影を落とし、税収の減少により、厳しい行財政運営を強いられることが予想されております。このような中で、地方分権改革の進展に伴い、地方公共団体の自己決定・自己責任の範囲が拡大し、市民の代表としての意思決定機関、市政のチェック機関であります市議会の役割は一層重要なものとなってきております。

私ども市議会は、来年春に迫りました九州新幹線全線開通を経済発展及び活力あふれる地域づくりのための絶好の機会とし、市民の皆様が安心・安全に暮らすことができる八代市の実現に向け、全議員が一致団結して努力して参りたいと考えておりますので、なお一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年が市民の皆様と本市にとりまして、飛躍の年となりますよう祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

八代市議会議長
山本 幸廣